

===== 2013.12.25

NPO 法人東京高次脳機能障害協議会(TKK) — <http://www.brain-tkk.com/>

T | K | K | メ | ル | マ | ガ | vol.26

～目次～

- 【1】TKK活動
- 【2】関連団体の活動
- 【3】行政等の活動
- 【4】特集：この1年の活動を振り返って（TKK加盟団体）

【1】TKK活動

* *

●シナプス ミニ講演会 「脳損傷者の人権擁護と生活の質を高める支援」

8月27日（火） 14:00～16:30、赤坂区民センター 4階第1会議室

講師；シナプス CEO のジェニファーさん達3人

内容：シナプスの事業概要（高次脳機能障害者の住宅提供プログラム、高次脳機能障害者生活支援の手法）

==== 神奈川県小川先生の企画により、オーストラリアシナプスCEOのジェニファーさん達3人が講師として、それぞれ、シナプスの事業概要、高次脳機能障害者の住宅提供プログラム、高次脳機能障害者生活支援の手法等々のミニ講演が開催されました。参加者はTKK関係者だけでなく、日本脳外傷友の会の東川さんやナナの会の大塚さん、支援者や専門家の方々など50人程が受講し、シナプスの進んだ支援手法と優れた考察技法などを学ぶことが出来ました。しかも熱心な質疑応答が飛び交い、参加者の方々は実践的な支援内容をしっかりつかむことが出来たと思います。ミニ講演会終了後はシナプスの方々をお招きして、近隣の会場で懇親会を開催し、世界遺産である和食で「お・も・て・な・し」を致しました。シナプスのご一行様、小川先生関係者、参加者の皆様は、おおいに交流を深めた1日となりました。====（細見みゑ）

<医療及び家族相談交流会>

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=91

●第7回：12月22日（日）慈恵会医科大学附属第3病院

○第8回2014年1月19日（日）すみだ産業会館（錦糸町駅）

○第9回：2月16日（日）慈恵会医科大学附属第3病院

○第10回：3月16日（日）東京都心身障害者福祉センター

（時間はいずれも13:30～16:30）

<実践的アプローチ講習会(全3回)>

http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=89

●第1回:5月12日(日)、●第2回:8月11日(日)、●第3回:12月8日(日)

*実践的アプローチ講習会の受講手続きが完了していたにも関わらず、当日欠席された方へ!

講習時に配布した資料をご希望の方は、郵送いたしますのでE-mailでご請求ください。

請求方法:欠席した講習日、お名前、ご住所、電話番号を記載して、tkkapproach@gmail.com宛に送信してください。尚、勝手ながら資料請求の締切りは2014年3月31日までとさせていただきます。

====平成25年度、TKK主催、「高次脳機能障害 実践的アプローチ講習会」3回/年事業のご報告。

東京慈恵会医科大学1号館3階講堂にて、第1回は5月12日(日)、第2回は8月11日(日)、第3回は12月8日、それぞれ、早くから受講席は売り切れ、満席にて、完了いたしました。各回は東京近県から全国の方々など大勢に受講していただき、好評を得ることができました。12人の講師の方々の魅力とご講演内容の素晴らしさは元より、TKK実行委員やスタッフの方々のご努力、及びTKK皆様のご協力のお陰様によるものと、心より感謝申し上げます。当事者やご家族への支援の、強力な実践につながればと願ってやみません。

尚、実践的アプローチ講習会は大変好評でしたのと、今年度満席にて受講できなかった方々は100名近くにも及び、講習会を再度開催して欲しいとの強いご希望が多くあったことから、次年度(2014年度)も継続して開催することとなりました。開催日や講師の方々も確定いたしました。来年度の講師の方々も、高次脳機能障害支援に精通し、卓越した先生方ばかりでいらっしゃいます。「即」役立つ講習会を、どうぞご期待下さい。====(細見みゑ)

○2014年度高次脳機能障害実践的アプローチ講習会のお知らせです。

来年度は、2014年5月18日、8月24日、12月7日(いずれも日曜日)に、2013年度と同様の会場、東京慈恵会医科大学西新橋校大学1号館3階講堂において開催致します。

各回のプログラム、申込み期間や方法については、TKKホームページ、又は以下のサイトでご確認ください。

TKK 情報専用サイト <http://www7b.biglobe.ne.jp/~brain-link/tkk.html>

TKK ホームページ http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=100

●東京都へ平成26年度予算要望書提出、都からは口頭で回答があった

10月9日(水)、11:00~12:00 都庁第2本庁舎10階北側207会議室にて

<東京都側出席者>

東京都福祉保健局 障害者施策推進部/保健・医療課(高次脳機能障害特命担当課長)、支援課(施設運営係長)、自立生活支援課(地域生活支援係長) 計画課策部/医療助成課(助成担当係)

*平成26年度TKK予算要望書、および、東京都ヒアリング(東京都の回答)については、TKKホームページの「当会からのお知らせ」を参照ください。

●2013年度 第2回理事会、

平成25年11月1日(金) 14:30~ 16:30 慈恵会医科大学附属第3病院内会議室

●東京都への予算要望書再提出(練馬障害者支援ホームに関する事項に絞って)

11月29日(金)、都庁第1本庁舎25階109会議室

<東京都側出席者>東京都福祉保健局 障害者施策推進部/保健・医療課(高次脳機能障害特命担当課長)

*再提出のTKK予算要望書については、TKKホームページの「当会からのお知らせ」を参照ください。

【2】関連団体の活動

* *

●コンサート「心の唄‘13～共に生きる～」

主催：心の唄実行委員会 共催：高次脳機能障害者と家族の会品川支部、NPO 法人暮らしと耐震協議会

2013年11月30日(土) 14時～16時10分、きゅりあん8階大ホール、

出演：心の唄バンド、木谷正道、ひだまりの会など

====心の唄コンサートに高次脳機能障害者と家族の会品川支部も「ひだまりの会」として参加し、2曲唄わせて頂きました。私達にとって大きな舞台に立つことは初めての経験でしたが、出来る事を頑張っていこうと、一生懸命に唄いました。

前の週に3紙の新聞で「ひだまりの会」を取り上げて下さったこともあり、当日の会場にいらした多くの方に高次脳機能障害を知って頂けたと思っています。このような機会を頂いた事に感謝して、これからも家族会として、活動の場を広げていければと思います。==== (渡辺泉江)

●「脳損傷者リハビリテーション講習会」主催：脳損傷者リハビリテーション講習会実行委員会

12月15日(日)13:00～15:30、昭和女子大学 学園本部館3F 大会議室

高次脳機能障害者自身が発症から今日に至るプロセスについて具体的なリハビリ内容を発表。

ケーススタディに先立ち、「高次脳機能障害とは」川手信行(昭和大学病院准教授リハビリ医)の講演。

『私が今、目指していること』①司会：和田義明(日産厚生会玉川病院副院長リハビリ医)

ケース①「就労への道のり」藤原敦さん

ケース②「地域の中で生き活きと」酒井さん

『私が今、目指していること』②司会長谷川幹(三軒茶屋リハビリテーションクリニック院長リハビリ医)

ケース③「渋谷まで、買い物に」横山香さん

『地域における高次脳機能障害者の支援体制について』繁野玖美(世田谷区総合福祉センター作業療法士)

====今年「私が今、目指していること」というテーマで開催。当事者にかかる言葉の難しさ、受傷から復職までの本人の気持ちとその支援の有り様、遷延性意識障害者が電動車椅子で外出するまでの様子。家族、支援者として学ぶことの多い会でした。==== (今井)

○交通事故被害者および高次脳機能障害・遷延性意識障害者のための「神奈川県支援集会」

主催：交通事故被害者家族ネットワーク、協賛：NPO 法人 脳外傷友の会

後援：神奈川県社会福祉協議会、横浜市社会福祉協議会

1月26日(日)13:30～17:00 横浜市技能文化会館 8階 大研修室

(JR 根岸線関内駅徒歩5分。横浜市営地下鉄ブルーライン「伊勢佐木長者町駅」出口徒歩2分)

①講演「民法改正等による最新の裁判情報」古田兼裕氏(弁護士)

②講演「高次脳機能障害の対応と現状」青木重陽氏(医師)

③講演「若者への外傷予防教育とは」小島善和氏(東海大学健康科学部看護学科准教授)

④交通事故「無料」法律相談会

問合せ:080-3154-2748

○「今年もやります！春の音コンサート！」主催:世田谷高次脳機能障害連絡協議会
高次脳機能障害を抱えた当事者達が、歌や群読劇、ピアノ演奏、ムード歌謡など盛り沢山に発表します。寒い季節ですが、熱い思いに会場は盛り上がります。是非いらしてください。参加費:900円
2014年2月2日(日)13:00~15:30(12:00開場)
玉川区民会館大ホール(東急大井町線等々力駅前)世田谷区等々力3-4-1 Tel 03-3702-1675
お問い合わせ先:世田谷高次脳機能障害連絡協議会 事務局 植田 Tel 03-5829-8741

【3】行政等の活動

* *

<平成25年度港区高次脳機能障害理解促進事業>(TKKへの委託事業、協力:みなと高次脳)

●第1回:9月8日(日)13:30~16:30、高輪区民センター1階集会室

「講演会及び医療&家族相談交流会」

●第2回:11月21日(木)、14:00~16:00、高輪区民センター1階集会室

基調講演:「高次脳機能障害者支援 医療ができること、地域ができること」区内の支援者を対象に「研修会」を行った。

====基調講演は、東京慈恵会医科大学附属第3病院リハビリテーション科診療部長(教授)渡邊 修先生のいつもの明快なご講演は聞く人々の目を引きつけてやみません。今回のご講演に当事者の自動車運転の研究事例が加わっていたことは、また新鮮で興味深い内容でした。講演2は、家族の声として、みなと高次脳の高井代表にご講演いただきました。当事者も親も共々、高次脳機能障害の精神的な苦しみの日々を切々に訴え、適切な支援のあり方を願っておられました。====(細見みゑ)

○第3回:高次脳機能障害「研修会」

2014年2月8日(土)13:30~16:00 港区高輪区民センター

講演1「高次脳機能障害 当事者とその家族への支援について~様々な事例から~」

講師:元東大医学部教授で高次脳機能障害の名付け親である上田 敏氏

講演2は、「家族の声~高次脳機能障害者支援~親亡き後の願い」

講師:「いちごえ会」増村 幸子代表

○北多摩北部地域 高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会 市民交流事業

「記憶障害のリハビリテーション」平成26年1月25日(土)、13:30~16:30

清瀬けやきホール(西部池袋線清瀬駅北口徒歩4分)、450名 参加費:無料

1部:基調講演「高次脳機能障害のリハビリテーション ~記憶障害を中心に~」

橋本圭司氏(国立成育医療研究センター リハビリテーション科医長)

2部:地域での実際の支援 ~当事者の声から~

○国立市主催講演会

①②とも、参加費無料、事前申し込み不要、会場はくにたち市民総合体育館 2階会議室

問い合わせは、国立市健康福祉部しょうがいしゃ支援課 相談係

①平成26年2月1日(土) 14:00～16:00 受付(13:00)

「高次脳機能しょうがいの改善の鍵は地域」長谷川幹氏(三軒茶屋リハビリテーションクリニック院長)

②平成26年3月15日(土) 14:00～16:00 受付(13:00)

「高次脳機能しょうがいの回復のコツ～専門家の実践～」関啓子氏(三鷹高次脳機能障害研究所所長、
神戸大学大学院保健学研究科客員教授)

【4】特集:この1年の活動を振り返って

ここでは、TKK加盟の25団体(平成25年7月現在)のうち3団体ずつを順次ご紹介します。

第1回目のvol.25号では、[高次脳機能障害者・遷延性意識障害と家族の集い「なんてんの会」]、[高次脳機能障害者の未来を紡ぐ会「みなと高次脳」]、[「NPO 法人高次脳機能障害者活動センター 調布ドリーム」]の3団体をご紹介しました。

脳損傷による高次脳機能障害者の集まり「フォーラム大田高次脳」 代表：栗城優子

この1年の活動の振り返り

「フォーラム大田高次脳」は、大田区在住の脳損傷による高次脳機能障害者と家族の集まりです。

平成20年に、「ハイリハ東京」「高次脳機能障害者と家族の会」のメンバー、支援者20名ほどでスタート致しました。大田区に相談窓口、居場所をつくることなどを目的に活動を始めました。

平成22年に、当事者、家族の集まる場所として、「たまりば～」を開きました。

月1回の定例会で、当事者・家族・支援者15名ほどが集まり、近況報告や、困っていることなどを話し合っています。「お花見」や「カラオケ大会」など楽しんでいます。

平成24年には、フォーラム大田主催の講演会を初めて開催致しました。この講演会の終了後に、お集まり頂いた支援者の方々と「大田高次脳障害支援者ネット」を立ち上げました。

本年度(平成25年度)は、支援者ネット主催による医療・介護・福祉・専門職を対象とした「おおた高次脳機能障害サポーター養成講座」(6回連続)を開催致しました。高次脳機能障害者を理解し、地域社会で普通の暮らしができるようサポートできる専門職のネットワークをつくる目的です。70名を超える方々が参加され、地域連携の重要性を参加者に感じ取って頂けたことは、大きな進歩と考えております。

また、平成25年4月には、高次脳機能障害者の小規模型通所介護施設(リーベ池上)も開設され、日中の居場所ができました。

多くの方々の出会いにより、こうした動きが形作られてきたことは、家族会として嬉しいことです。

今はまだスタートを切ったばかりで、今後活動を継続し経験を積み上げていくことで、当事者家族が地域で安心して暮らし笑顔が戻るよう、家族会での活動を大切にしていきたいと思っております。

江東区・高次脳機能障害者と家族の会「猫のひげ」 副代表：太田 廣子

『猫のひげ』の活動を振りかえって

江東区・高次脳機能障害者と家族の会(2006 発足)『猫のひげ』としては 2009 深川に一軒家を借り 3 年間活動。ここでの働きかけが区に届き、「猫のひげ」の活動は 2011 年度から江東区の事業に引き継がれ、江東区障害者福祉センターへの委託事業「高次脳機能障害者交流会」となりました。毎月 1 回(第 3 土曜)サービス提供。現在の利用者は、家族と一緒にいる人も、本人だけの人もいますが常時 12~13 人の参加者です。プログラムは、午前中に料理をしてお昼を一緒に食べます。午後は、映画鑑賞、カラオケ、ゲーム、認知リハに繋がる内容になっています。他に毎月第 1、第 3(月曜日)に失語訓練や重い記憶障害リハビリ提供、第 3(月)午後に鈴木勉氏による専門相談が実現しました。

『猫のひげ』としての活動は、障害者福祉センターが年 3 回、夜に開催する当事者とその支援に関わる団体の「高次脳機能障害関係機関連絡会議」に、家族会として参加しています。関係機関は福祉事務所や就労支援センター、東京都リハビリ病院や当事者支援の事業所などに呼びかけているので、近隣の江戸川区からの参加もあり 20 団体ほどになります。症例検討や都リハの事業説明、施設見学をすることもあります。家族会としては手帳の申請やリハビリなどへのつながりがスムーズになってとても助かっています。

現在、『猫のひげ』当事者の何人かに高齢化・重度化が進み、在宅介護が限界にきています。いつ家族が介護の手を離すか、決断を迫られています。現在私たちは、以前区の海の家だった千葉県にある民間の有料老人ホームに、高次脳機能障害者(介護保険適用外障害者も含む)が入所できるよう働きかけ実現するところまで来ています。

高次脳機能障害若者の会「ハイリハ東京」 代表：小澤京子

～一年を振り返って～

今年は富士山の世界遺産登録 2020 年のオリンピック東京決定と大きなニュースの中、障害関係では 4 月 1 日から障害者総合支援法施行されたり、国連障害者の権利条約を批准することが衆議院本会議で全会一致で承認されるなどありましたが、今年は何と言いましても、TKKの大きな事業として「高次脳機能障害実践的アプローチ講習会」の開催と無事に盛況の中終了できた事が大きな出来事と思います。一年間に三回シリーズで、のべ 750 人以上の参加者と 12 名の専門の先生方に高次脳機能障害の基本から応用まで様々な内容を取り入れた大変有意義な講習会でした。KTTのスタッフとして受付を担当させさせて戴いた感想としましては、参加者の年齢が若い事にうれしさを感じました、これからを支えていく若い支援者が熱心に受講している姿は頼もしく思いました。

各地域に於いて高次脳機能障害関連の講演会 講習会 研修会 イベントと多くの催し物が年々増えていく中で「ハイリハ東京」の活動では今年も調理会・講演会「みんなでこれからを考えよう」、郊外活動として上野の国立科学博物館に行くなど会員同士の絆が深まっているように感じます。また当事者本人が講演会等に講師として参加をして自分の体験を話し、改めて自分を見つめ直すことが出来るようになったのも進歩と思います。来年も様々な活動を通して前に進みたいと考えております。

以上